

江戸川特別支援学校 中間報告

平成23年9月20日

魔法のふでばこプロジェクトチーム

○ 目標

授業の中で iPad を生かす。

さまざまな障害の児童・生徒に対しての iPad の可能性を検証する。

○ 現時点までの進行状況

本校では、iPad を使うための授業を考えるのではなく、授業を実践する中でどのような形で iPad を用いると、適切であるか検証する方向で取り組んでいる。

その中で、中学部の自立活動を主とするグループでは、国語・数学の絵本読みの活動の最後の、動物たちと池で遊ぶ場面に Pocket Pond HD を活用し、音と画面の変化が生徒の興味・感心を高めることを確認した。

また、中学部の準ずる課程のグループの国語では、インターネットを利用した調べ学習に iPad を活用した。iPad は小さいので机の上に教科書・ノートなどと一緒に置くことができ、調べた内容をノートなどにまとめる時も視線の変更がすくなくてすむという長所もあった。App は wikipanion を利用した。

中学部の下学年対応のグループの社会の指導では、学校周辺を調べる活動で iPad を校外に持ち出して使用した。行った場所・経路の確認などを行うことができ、また軽量なので生徒の負担も少なかった。この社会の授業内容は、関肢研及び全肢研で報告する予定である。App は map を利用した。

iPadアプリ一覧(効果が確認できたもの)

app名	内容	対象	使用感
Pocket pond HD	iPadの画面が池になる。	全課程	触った場所が変わり、同時に音もするので、障害の重い生徒にも因果関係がわかりやすい。また、水の音が心地よいので、児童・生徒の興味関心を引き出す場面に有効である。絵本読みの中の水に入るような場面にも使えるので、工夫次第で様々な広がり期待できる。
Loop	触った場所から円が広がり他の円とぶつかったところで音がする。	円がぶつかりあうと音が出るとわかる児童	さわると円が増え、円と円が接すると音が出るとわかる人には、心地よい音が出るので、興味をもてるapp。導入には良い。
Sounddrop	線で玉をコントロールし、様々な音階を作る。	線の作り方、玉の弾み方がわかる児童・生徒	こぼれてくる玉を、直線を引いて様々な方向に誘導することによって、色々な音階を作れるapp。導入には良い。
次とまります	バスの停車ボタン	ボタンを押すことが楽しめる児童・生徒	単にボタンを押すappなので、手の操作性の練習に良い。
ぷちぷち気分	ビニールのぷちぷり	iPadの画面の変化がわかる児童・生徒	ビニールの梱包材をつぶすapp つぶすものの大きさを調整できるので、わかりやすい。
DropTalk	VOCA	全課程	言葉の練習の前段階の児童・生徒に事物と単語を一致させるところから、簡単な気持ちを表現するまで活用できるapp。編集機能が使いやすく、後からシンボルも追加しやすい。重度の児童・生徒のビッグマックの変わりにも使用できる。
Wikipanion	Wikipediaの検索	準ずる課程	ブラウザを利用するよりも簡単に知りたい項目にアクセスできる。
マップ	地図	調べ学習を行う児童・生徒	校外に簡単に地図を持ち出すことができ、また現在地点もほぼ正確に表示されるので、移動した経過などもわかりやすい。
Tap To Talk	英語導入	英語の学習の初期	簡単な英文を繰り返し学習できる。
さわる大科学実験	理科	理科の学習	簡単な実験をiPad上でできる。
実物換算	大きさを他の物に換算する	調べ学習をする生徒	大きさを様々な対象物いくつ分ということに変換してイメージさせることができる。
元素図鑑	理科	理科の学習	元素を綺麗な画像で学ぶことができる。
ニュートン	理科	理科の学習	指導の内容の補助教材として有効である。
Allatany	新聞よみくらべアプリ	準ずる課程	朝日、読売、日経新聞の紙面を一度にみることができるアプリ。NIEの活用や情報モラルに関する授業に使える。
Keynote	プレゼンテーションアプリ	準ずる課程、知的代替の教育課程	授業時の準備が手早くできる。
NHK World	NHKの国際放送アプリ	準ずる課程	NHKの国際的な放送。国際理解やニュースでの活用。